

山内

やまうち さちこ

幸子



内閣総理大臣から贈られた賞状と勲章

プロフィール

■ 山内 幸子（やまうち さちこ）さん／富丘在住 ☎・FAX (24)3291 / 平成4年に行政相談員に就任して以来、長年にわたり相談業務に尽力する。また、数多くの団体の要職を歴任し、現在も千歳市各種相談員連絡協議会、千歳市交通安全母の会などの会長を務める。

5月11日、東京都港区の東京プリンスホテルで開催された叙勲伝達式で、千歳市担当の行政相談員 山内幸子さんに、「瑞宝単光章（ずいほうたんこうしやう）」が授与されました。職務の複雑度、困難度、責任の程度などが評価され名誉ある勲章を受章した山内さんに、長年にわたる相談活動についてお話しを聞きました。

●今の感想をお聞かせください

「お話しをいただいたのが4月末、私ごとで慌ただしい時期でもありましたので、ゆっくり喜ぶ間もなく今日に至ります。正直なところ、『大忙し』という気分ですが、たくさんの知人から、お祝いと励ましの電話をいただいております。感謝に堪えない日々を過ごしています。」

●行政相談員のお仕事は、市役所の

みならず国や道など、幅広い行政に関わる相談業務ですが、大変に感じたことはありませんか

「以前は郵政なども含まれておりましたし、寄せられる相談はさまざまで、困難なケースもありました。

思い返せば、最初に相談を受けたのが、就任して間もない平成4年のころ、空港周辺住民の移転先地問題に関わる件で、地域の方から、市の対応について相談がありました。最初は、大変な仕事かもしれないと思いましたが、その方はとても律儀な方で、市の担当者の対応も良く、無事に解決されました。最後にそれぞれから《ありがとう》と書いていただいたことが、始まりだったように思います。

行政相談は、行政と市民の皆様との理解の食い違いから起こることが

行政相談員としての25年

「ありがとう」の言葉こそ私にとって「有り難い」こと。



多く、解決の糸口は、実はコミュニケーションにあると私は思っています。その橋渡しを担う職務であることに、喜びを実感してまいりました。」

て《有り難い》ことでございます。私は世話好きではないのですが、困りごとを抱えている方を見ると、放っておけない気性なのかもしれませんね（笑）。

●思い出深い事例をお聞かせください

「もちろん、一人で対応したわけではございませんが、相談から、千歳駅のエレベーター設置や、郵便ポストの設置につながったケースなど、自分の励みになった思い出はたくさんあります。特に、お年寄りに喜ばれることが嬉しかったですね。《東雲会館》のトイレが和式で、足腰の弱い方から相談があった際、市はずぐに《取っ手》をつけてくれたのです。普段から施設を利用されていた団体の皆様は大喜びなさって、一人一人から感謝の言葉をいただきました。

困っていた方から《ありがとう》と書いていただくことが、私にとって「悩むことがあったら、ぜひ相談に来てください。市にはいろいろな相談窓口があり、横の連携はしっかりしています。16種類もの相談員が連絡を取り合う《千歳市各種相談員連絡協議会》は、全道でも他に例を見ない、千歳が誇る組織活動です。必ず良い解決方法を見つけます。」

今年、行政相談員として25年目を迎えた山内さん。優しく穏やかな語り口の合間に、疲れをまるで感じさせない力強い意思が潜みます。